

2018年12月18日

## 2 海洋プラスチックごみ問題への啓発について

○松本議員

～略～

次に海洋プラスチックごみ問題への啓発について、近年、海洋プラスチックごみが、国際的にも、国内的にも、大きな問題となっています。

イギリスのシンクタンク「エレン・マッカーサー財団」が、海洋プラスチックごみに関する報告書を公表しています。この報告書によれば、世界で、年間800万トンのプラスチックが海洋に漏出し、2014年には海の中に、5トンの魚に対して1トンのプラスチックがあると推測され、2050年になると、プラスチックの方が魚よりも増える見通しとされています。

摂津市に海はありませんが、市民が捨てたプラスチックの一部が、川を通過して、大阪湾に到り、海洋ごみになっているのは否定できません。私たち摂津市民も、海洋プラスチックごみに対し、責任を負っています。

この現状を踏まえ、また次世代のためにも、より良い地球環境を維持するには、海洋プラスチックごみをこれ以上出さないことが必要になります。そのため、できることから対策を推進すべきです。そこでまず、本市のプラスチックごみ対策の現状をお聞かせください。

～略～

○嶋野議長

環境部長

○環境部長

海洋プラスチックごみ問題への啓発についてのご質問にお答えいたします。海洋プラスチックごみ問題の対策といたしましては、プラスチックの再資源化、発生抑制、ポイ捨て禁止などの取り組みが有効であると考えられます。

本市では、平成10年よりペットボトルの分別収集を開始し、平成26年からは食品トレイの分別収集を行い、プラスチックの再資源化を図っております。

また、北摂7市3町と食品スーパー9社との間で、レジ袋無料配布中止協定を締結し、本年6月から実施するなどして、プラスチックごみの発生抑制と削減の取り組みを進めております。

一方で、昨年4月に環境美化ボランティア制度を創設し、12月には環境美化推進地区を指定するなど、プラスチックを含むごみのポイ捨て抑止や環境美化をめざして、市民

の意識向上にも取り組んでおります。

～略～

○嶋野議長  
松本議員

○松本議員  
～略～

次に海洋プラスチックごみ問題への啓発についてですが、本市でもプラスチックごみ削減のため対策を講じていることは理解しました。しかし、さらなる促進が必要ではないでしょうか。

そこで自民党として、本市が「2030年までに、プラスチックのゴミをゼロにする宣言」をすべきである、と提案します。この宣言の対象であるプラスチックとは、土に還らないものを対象とします。すでに今年、神奈川県や鎌倉市、そして先日、亀岡市で「プラごみゼロ宣言」が行われています。

また来年、大阪でG20が開催されますが、国は海洋プラスチックごみを検討テーマの一つに選んだと報道され、環境省でもこのプラスチック分解技術関連に2019年度予算として50億円を概算要求に盛り込むとされています。

この時代の流れを促進し、国、各地域、民間企業と連携すれば、プラスチック分解技術の向上やプラスチックを減らす3R取り組み推進を加速することができます。

当然ながら基礎自治体としてできる範囲は限られていますが、さきほどの本市が現在実施している対策を基本とし、そして目標を持って取り組むことがまずは大切ではないのでしょうか。

ゆえに『プラスチックごみをゼロにする宣言』に対して、是非、市として取り組んで頂きたいと考えますが、市長のお考えをお聞かせ下さい。

○嶋野議長  
市長

○市長

松本議員さんから環境問題の質問でございますが、あの世界は一つと申しますか、地球は宇宙空間でひとつにつながっております。ということで、環境問題、これは世界共通の課題でないかと思っております。そこで海洋プラスチック等々のことに対するご質問でございますが、消費大国日本の責任、これは小さくないと思っております。

ご質問のなかでもあったかと思いますが、摂津市には近くに海はございませんので、よそ事のように、ともすればなってしまうんですけどね。ご指摘の通りあちこちのポイ捨てゴミが各河川に流れて、そして大阪湾から海に出ていくと。今年の世界でも

共通、国連でもとりあげられたのは、海洋プラスチックが、海の生態系をつぶしてしま  
って、結果的には人類の健康被害にも非常に深刻な影響を及ぼしつつあるとようなもの  
が採択されたと思います。そういうところで摂津市もですね直接、間接、やっぱり、こ  
の原因の中に入るわけでありますので、けっしてよそ事ではないと思っています。

そのうえで0宣言をしたらどうかなというご提案だと思いますが、ご案内の通り、摂  
津市はすでに環境創造都市宣言、こういった趣旨も踏まえて、かなり大きな宣言をして  
おりますが、その中でプラスチックの仕分けとか、ペットボトルですか分別とかい  
ろいろ先進的な取り組みをしてきたところでございますけども、今後もですね、もっと  
もっと意識を高めるという意味で、その環境創造都市宣言の中で、さらに0を目指そう  
ということですね、問題意識を高めていきたいと思っておりますので、ご理解を頂きたいと思  
います。

○嶋野議長  
松本議員

○松本議員

ありがとうございます。是非ですね、国と地域と民間企業と連携して、プラスチック  
ごみゼロを目指す取り組みをしっかりと促進するようお願いを申し上げます。